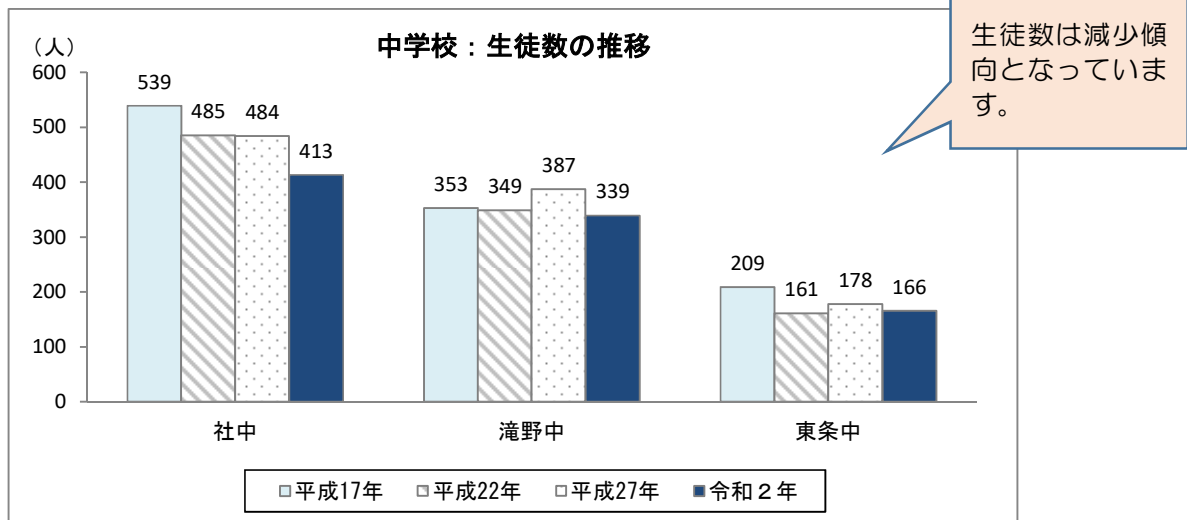


図表 5 市立中学校生徒数の推移



生徒数は減少傾向となっています。

(2) 本市の教育に関する市民の意識・実態

本市の「加東市総合計画に関するアンケート」において、教育に関する意識調査を実施しています。市が取り組んでいる施策の重要性と現状の満足度について、教育に関する施策を抜粋し、平成27（2015）年調査以降の3回の調査結果を比較しました。

令和2（2020）年の市民意識調査の結果、「重要である」「やや重要である」を合わせた『重要である』割合（以下『重要である』割合という。）が5割を超える教育に関する施策は、「小中学校における人権・道徳・体験学習などの充実・心の教育の推進」、「確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成と社会への適応能力の向上」、「健全な子どもを育てる取組・環境づくり」となっています。また、~~その3つの施策の満足度については、「満足」「やや満足」を合わせた『満足である』割合（以下『満足である』割合という。）は全体の1割から1.5割程度となっています。そして、令和2~~（2020）年調査の項目に追加した施策のうち、「幼児教育と保育サービス等の充実」、「学校教育環境の整備充実」~~もについても、『重要である』割合が5割を超えています~~が、『満足である』割合は全体の1.5割から2割程度となっています。この5つの施策の満足度について、半数以上の人々が「普通」と回答しており、「満足」「やや満足」を合わせた『満足である』割合は、全体の1割から2割程度となっています。

また、日頃の行動や活動について、教育に関連する行動や活動の参加状況を抜粋しました。「生涯学習（習い事、講座・講習会など）」、「スポーツ活動（テニス、スポーツクラブなど）」及び「加東市の歴史や文化を次世代に引き継ぐ活動」について、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を合わせた『参加している』割合（以下『参加している』割合という。）は、令和2（2020）年調査では、平成29（2017）年調査よりも低くなっており、特に、「加東市の歴史や文化を次世代に引き継ぐ活動」に『参加している』割合は1割以下となっています。また、図書館や公民館の利用状況について、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を合わせた『利用している』割合は、令和2（2020）年調査で図書館の利用は全体の4.5割、公民館の利用は2割程度となっています。公民館の利用が「ほとんどない」と回答した理由について、「利用する時間的余裕がない」の割合が38.7%と最も高く、次いで「興味のある講座やイベント、サークル活動がない」の割合が29.0%